

平成 30 年度

長野県公共事業新規評価について

平成 31 年 1 月

長野県公共事業評価監視委員会

目 次

1	本年度の審議対象事業の考え方	・・・	1		
2	審議結果（意見書）のとりまとめ方	・・・	2		
3	新規評価事業に関する委員会としての意見	・・・	3		
(1)	道路改築	(国)143号青木峠【松本市～青木村】	・・・	3	
(2)	県営畑地帯総合土地改良	南牧野辺山	【南牧村】	・・・	3
(3)	公営住宅建替	県営住宅大萱団地	【伊那市】	・・・	4
(4)	抽出以外の箇所		・・・	4	
4	おわりに	・・・	4		

平成 30 年度 長野県公共事業評価監視委員会 意見書

～公共事業新規評価対象事業に関する意見～

1 本年度の審議対象事業の考え方

長野県公共事業評価（新規、継続、事後）実施要領では、新規評価にあたって長野県公共事業評価監視委員会（以下「本委員会」という。）から意見聴取を行う箇所は、県が評価を実施した箇所のうち、

- (1) 総事業費 10 億円以上
- (2) すべての事業種類について概ね 5 年に 1 回とされている。

本年度、県が評価を実施した箇所は、総事業費 10 億円以上が 7 箇所、10 億円未満が 52 箇所であった。

本委員会の設置要綱では、審議案件について、県から新規評価案の提出を受け、各事業を取り巻く社会状況等を勘案して、本委員会が抽出するとされている。

本年度新規案件の無い森林整備、公園の整備及び市町村道支援の整備を除く事業については、表-1 に示すとおり過去 5 年以内に意見聴取を行っていることから、本委員会では、表-2 に示す 10 億円以上の事業 7 箇所すべてについて説明を聞いた上で、詳細な審議の対象として 3 箇所を抽出した。

表-1 事業種類別の意見聴取、抽出箇所件数

単位：箇所

事業種類	H26		H27		H28		H29		H30			
	10 億円以上		10 億円未満		10 億円以上		10 億円以上		10 億円以上			
	意見聴取	うち抽出	意見聴取	うち抽出	意見聴取	うち抽出	意見聴取	うち抽出	意見聴取	うち抽出		
地すべり対策					1							
農村地域の防災・減災							1	1	1		1	
治山・砂防			1									
河川の整備等							1	1	3	1		
主要な道路の整備	4			5	1		3		2		1	1
補完的な道路の整備	1	1					1	1	1	1		
道路付帯施設の整備			1									
農業基盤整備	3	1		1	1				2	2	3	1
森林整備												
公園の整備												
市町村道整備の支援												
その他											1	1
合計	8	2	2	6	2	1	6	3	9	4	7	3

3箇所の抽出理由は、次のとおりである。

- (1) 道路を築造する事業から総事業費の大きい「主要な道路の整備」の「青木峠（松本市～青木村）」を抽出。
- (2) 「農業基盤整備」から、総事業費の大きい「南牧野辺山（南牧村）」を抽出。
- (3) 「その他」から、唯一対象となっている「県営住宅大萱団地（伊那市）」を抽出。

表-2 平成30年度 公共事業新規評価対象箇所及び審議対象事業一覧（10億円以上）

事業種類	事業名	市町村名	ろかせんわいとう 路河川名等	事業概要	事業期間	全体事業費 (千円)	担当課	県の 自己 評価	抽出 箇所
農村地域の防 災・減災	県営農村 地域防災減 災	須坂市	ちくまがわえんがんあいのしま 千曲川沿岸相之島	排水機場改修 2箇 所	2019～2026	1,000,000	農地整備課	A	
主要な道路の 整備	道路改築	松本市 ～ 青木村	(国)143号 あおきとつげ 青木峠	道路改築工 L=4.3km W=6.5(9.0)m	2019～2027	15,000,000	道路建設課	A	○
補完的な道路 の整備	街路	飯田市	とうしんちよう (都)東新町 ざこうじせん 座光寺線 かみさと 上郷	道路改築工 L=1,400m W=6.0(12.0～15.0) m	2019～2027	3,700,000	都市・ まちづくり課	A	
農業基盤基盤 整備	県営かんが い排水	小諸市ほか	たてしなかんせん 立科幹線	用水路工 L=7,144m	2019～2025	1,625,000	農地整備課	A	
	県営畑地帯 総合土地改 良	南牧村	みなみまのべやま 南牧野辺山	畑地かんがい施設 A=254ha ほか	2019～2025	1,840,000	農地整備課	A	○
	県営畑地帯 総合土地改 良	塩尻市	せぼみょうぎ 洗馬妙義	畑地かんがい施設 A=21.7ha ほか	2019～2026	1,215,000	農地整備課	A	
その他	公営住宅建 替	伊那市	おおがや 県営住宅大萱団地	共同住宅(RC4階2 棟72戸)の建替え	2019～2027	2,300,000	公営住宅室	A	○
審議箇所計									3

注) 網掛け：抽出箇所

事業の必要性、重要性、効率性、緊急性、計画熟度を点数化し、その合計により評価

[100点満点 A:75点以上 B:75～50点 C:49点以下]

2 審議結果（意見書）のとりまとめ方

意見書のとりまとめにあたっては、県案に対する審議結果と評価の判断理由に加え、審議中にあったその他の意見を事業ごとに記載する。

3 新規評価事業に関する委員会としての意見

(1) 道路改築	(国) 143号	青木峠	【松本市～青木村】
----------	----------	-----	-----------

■県案に対する審議結果：県の自己評価は妥当と判断する。

【判断に至った理由】

- 当路線は、主要な幹線道路で第一次緊急輸送路であるが、狭く屈曲した峠道であり、高さ制限や信号処理による片側交互通行規制のトンネルを有し、車両の通行に支障をきたしているため、バイパス整備により安全で快適な交通の確保につながると認められること。

≪審議上の意見≫

- ルート決定にあたっては、地形・地質等をより精査し、検討されたい。
- バイパス整備により、高度救命救急センターである信州大学医学部附属病院への上田地域からのアクセスが向上することについて、事業の必要性として評価するよう検討されたい。
- 事業効果は、松本・上田間だけではなく安曇野地域等も含めるなどより広域的な視点で検討されたい。

(2) 県営畑地帯総合土地改良	南牧野辺山	【南牧村】
-----------------	-------	-------

■県案に対する審議結果：県の自己評価は妥当と判断する。

【判断に至った理由】

- 本地区は、畑地かんがい施設の未整備や排水不良、農道の幅員狭小が原因で、野菜の収量・品質低下のほか、作物輸送に支障をきたしているため、畑地かんがい施設、排水路、農道を一体的に整備することにより、高品質な葉物野菜の供給産地として、農業生産性が向上すると認められること。
- 担い手農家への農地集積が進み、農業経営の安定化が図られると認められること。

≪審議上の意見≫

- 施設整備により、葉物野菜の生産効率が上がるので、早期に整備を進められたい。

(3) 公営住宅建替 県営住宅大萱団地 【伊那市】

■県案に対する審議結果：県の自己評価は妥当と判断する。

【判断に至った理由】

- 老朽化が著しい伊那市内の公営住宅の居住環境の改善につながる事。
- 県営と市営が隣接する2つの団地において、県と市が協働で建替、改修、移管による公営住宅の再編・整備を行い、居住環境改善及び管理の効率化を図るものと認められる事。

〈審議上の意見〉

- 多目的広場の活用方法について、他の事例を参考に検討されたい。

(4) 抽出以外の箇所

抽出以外の4箇所については、第1回長野県公共事業評価監視委員会において、県からの説明を聞く中で、必要性、重要性、緊急性、計画熟度等から、各事業の県の新規評価案について妥当と判断した。

4 おわりに

本年度の新規評価は、第1回の委員会において、県から意見を求められた7箇所のうち、本委員会が抽出した3箇所について詳細な審議を行った。

今回の新規評価において、本委員会の意見は上記のとおりである。

現場の課題、事業効果については様々であったが、県からの説明や現地状況の確認により、その事業の必要性や地域振興への寄与等を理解でき、県案について妥当と判断したところである。

また、本委員会が提案し、今年度構築した事後評価等を新規評価に反映させる仕組みを来年度から本格的に実施することとした。これにより、公共事業評価制度に更にPDCAサイクルが組み込まれ、継続的な改善が実現し、公共事業の一層の効率化、重点化が図られるとともに、その実施過程の透明性が向上することを期待する。

以上